

R: Reading, L: Listening, S: Speaking, W: Writing

Lesson 1 A Baby's Face Is Disarming

観点		評価規準
関心・意欲・態度		<p>1. 赤ん坊の顔はなぜ無邪気で、まわりの人を引きつけるのかということについて関心を持ち、教師の問いに対して積極的に自分の考えを述べようとする。 [L], [S]</p> <p>2. 赤ん坊の顔のつくりや体型などに大人と違った特徴があることに気付き、それらを表現しようとする。 [S]</p> <p>3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。 [R]</p> <p>4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。 [L], [S]</p>
理解の能力	聞くこと	<p>1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。</p> <p>2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。</p> <p>3. 各セクションごとに、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。</p> <p>4. [Comprehension]において、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。</p>
	読むこと	<p>1. Section 1 を読み、赤ん坊が social magnet と呼ばれる所以と、赤ん坊に集まる大人たちが赤ん坊にどのような表情を取るかを理解することができる。</p> <p>2. Section 2 を読み、赤ん坊の持つ「鍵刺激」の存在と、特に頭の形によって、幼児と大人との違いを見分けることができることを読み取る。</p> <p>3. Section 3 を読み、赤ん坊の持つ「鍵刺激」を利用して、業界では人々からより好まれるキャラクターを作ろうとする傾向があることを理解することができる。</p> <p>4. Section 4 を読み、「超正常鍵刺激」が一層効果的に人びとの好ましい注意関心を引きつけることを読み取る。</p> <p>5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。</p> <p>6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。</p> <p>7. [Keys to Reading]において、that に注意しながら与えられた英文を正しく日本語に訳すことができる。</p>
表現の能力	話すこと	<p>1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。</p> <p>2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、Questions の問いに積極的に答えることができる。</p> <p>3. [Comprehension]において、人間に限らず動物の顔が子どもっぽく見える理由を英語で発表し、説明することができる。</p>
	書くこと	<p>1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。</p> <p>2. [Comprehension]において、人間に限らず動物の顔が子どもっぽく見える理由を英語で書いてまとめることができる。</p>
言語や文化についての知識・理解		<p>1. 赤ん坊の顔はなぜ人を引き付けて、なごませるのかという点について、科学的な考察が加えられ、説明できるということを理解できる。 [R]</p> <p>2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べるができる。 [R]</p> <p>3. that の文中における働きは複数あることを理解し、実際にそれぞれを正しく認識しながら正確に文を解釈することができる。 [R]</p> <p>4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。 [R], [W], [S]</p>

Lesson 2 Lessons from the Wolf

観点		評価規準
関心・意欲・態度		1. 「自然を守る」とはどういう意味なのかを考え、教師の問いに対して積極的に自分の考えを述べようとする。[L], [S] 2. 人の手が自然界に加わることで自然は変化し得るのか、また、その是非について考え、それらを表現しようとする。[S] 3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。[R] 4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。[L], [S]
理解の能力	聞くこと	1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。 2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。 3. 各セクションごとに、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。 4. [Comprehension]において、英語を聞き、関連する絵を正しく選ぶことができる。
	読むこと	1. Section 1 を読み、イエローストーン国立公園に人為的にオオカミを導入するようになった背景を理解する。 2. Section 2 を読み、オオカミの導入によってもたらされたさまざまな変化について理解する。 3. Section 3 を読み、オオカミの導入がイエローストーン国立公園の生態系に真に変化をもたらした原動力といえるのかどうかについて、科学的な見地からの検証や議論があることを理解する。 4. Section 4 を読み、イエローストーン国立公園へのオオカミの導入によって我々人間が得た教訓とは何かを理解する。 5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。 6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。 7. [Keys to Reading]において、「列挙 (listing)」という手法に着目して、文章の論旨の展開を理解する。
表現の能力	話すこと	1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。 2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、Questions の問いに積極的に答えることができる。 3. [Comprehension]において、イエローストーン国立公園に若い樹木が再生している原因として考えられていることを、本文に基づいてまとめ、発表することができる。
	書くこと	1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。 2. [Comprehension]において、イエローストーン国立公園に若い樹木が再生している原因として考えられていることを、本文に基づいて書いてまとめることができる。
言語や文化についての知識・理解		1. 生態系の維持はなぜ重要なのか、また、そのために果たすべき人間の役割は何かを理解できる。[R] 2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べることができる。[R] 3. 列挙のシグナルとなる語句に注目しながら、文章の論旨の展開を理解し、正確に文を解釈することができる。[R] 4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。[R], [W], [S]

Lesson 3 Let's Be Proud

観点		評価規準
関心・意欲・態度		1. ボランティア活動についてどのように思うかや、自分自身の過去の経験について、教師の問いに対して積極的に述べようとする。[L], [S] 2. 現在活躍中の竹中ナミ氏の力強いメッセージに触れ、自分に引き寄せて障害者の問題やボランティアのことについて考え、意見を発表しようとする。[S] 3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。[R] 4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。[L], [S]
理解の能力	聞くこと	1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。 2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。 3. 各セクションごとに、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。 4. [Comprehension]において、英語を聞き、関連するキーワードを正しく選ぶことができる。
	読むこと	1. Section 1 を読み、竹中ナミ氏について、「プロップ・ステーション」の役割について理解する。 2. Section 2 を読み、竹中氏が障害について学ぶようになった経緯と、身体障害者の社会参加についての彼女の考えを理解する。 3. Section 3 を読み、身体障害者と彼らを抱える家族の社会貢献へのあり方という点での竹中氏の考えを理解する。 4. Section 4 を読み、身体障害者の人々を納税者にするという竹中氏の目標と、彼女の前向きな人生観を理解する。 5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。 6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。 7. [Keys to Reading]において、and に注意しながら与えられた英文を正しく日本語に訳すことができる。
表現の能力	話すこと	1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。 2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、Questions の問いに積極的に答えることができる。 3. [Comprehension]において、本文を読んで印象に残ったことを、その理由も含めてまとめ、発表することができる。
	書くこと	1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。 2. [Comprehension]において、本文を読んで印象に残ったことを、その理由も含めて書いてまとめることができる。
言語や文化についての知識・理解		1. 障害者や高齢者の社会参加を促す際に考えなければならない点や、彼らをどのように支援すべきかという点について考察を加えることができる。[R] 2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べることができる。[R] 3. and が何と何を結び付けているかを把握することは、正確な読解に不可欠であることを理解し、実際に and に気をつけながら正確に文を解釈することができる。[R] 4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。[R], [W], [S]

Lesson 4 The New Science of Mind and Body

観点		評価規準
関心・ 意欲・ 態度		<p>1. 自分はストレスを感じやすいタイプかそうではないか、また、自分なりのストレス発散方法についてなど、教師の問いに対して積極的に述べようとする。[L], [S]</p> <p>2. 「病（やまい）は気から」という諺について自分はどう思うか、自分の考えや意見を発表しようとする。[S]</p> <p>3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。[R]</p> <p>4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。[L], [S]</p>
理解の 能力	聞く こと	<p>1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。</p> <p>2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。</p> <p>3. 各セクションごとに、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。</p> <p>4. [Comprehension]において、英語を聞き、本文の内容に関してのTFを正しく選ぶことができる。</p>
	読む こと	<p>1. Section 1 を読み、アレルギーとパーキンソン病の例を読み取りながら、「心」と「身体」の間には何らかの関係がありそうだということを理解する。</p> <p>2. Section 2 を読み、ヨガなどの「心身相関技術」を活用しながら健康を手に入れようとする傾向が現代にあることを理解する。</p> <p>3. Section 3 を読み、プラシーボ（偽薬）反応の例などからわかるように、「心の持ちよう」と「健康」との間に何らかの相関関係が科学的に立証できることを理解する。</p> <p>4. Section 4 を読み、心身相関技術および治療にはいくつかの具体的な利点があり、有効活用が期待されているということを理解する。</p> <p>5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。</p> <p>6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。</p> <p>7. [Keys to Reading]において、「省略」に注意しながら与えられた英文を正しく日本語に訳すことができる。</p>
表現の 能力	話す こと	<p>1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。</p> <p>2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、Questions の問いに積極的に答えることができる。</p> <p>3. [Comprehension]において、「病（やまい）は気から」ということばを聞いたことがあるか、その意味は何か、また、実際にそのような経験をしたことがあるか、あるいは、そのような話を聞いたことがあるかなどを、英語で発表できる。</p>
	書く こと	<p>1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。</p> <p>2. [Comprehension]において、「病（やまい）は気から」ということばを聞いたことがあるか、その意味は何か、また、実際にそのような経験をしたことがあるか、あるいは、そのような話を聞いたことがあるかなどを、英語で書いてまとめることができる。</p>
言語や文化についての知識・理解		<p>1. 精神的な状態が肉体の健康面に影響を及ぼすらしいということが、最近の科学的な調査研究によって解明されつつあるということを理解できる。[R]</p> <p>2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べるができる。[R]</p> <p>3. 省略を見抜き、正しく認識することは、読解の鍵を握る重要ポイントであることを理解し、実際に省略に気をつけながら正確に文を解釈することができる。[R]</p> <p>4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。[R], [W], [S]</p>

Lesson 5 Greening the Sahel

観点		評価規準
関心・意欲・態度		1. 教科書 p.58 の地図や写真を見ながら、拡大するアフリカの砂漠化現象に歯止めをかけるためにはどうしたらよいかについて、教師の問いに対して積極的に述べようとする。 [L], [S] 2. 今自分には将来の「夢」や「目標」があるか、あるとしたらそれは何か、ないとしたらそれはなぜなのかということを発表しようとする。 [S] 3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。 [R] 4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。 [L], [S]
理解の能力	聞くこと	1. 各セクションごとに、 Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。 2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。 3. 各セクションごとに、 True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。 4. [Comprehension]において、英語を聞き、本文の内容に関しての T F を正しく選ぶことができる。
	読むこと	1. Section 1 を読み、アフリカの砂漠化の現状と、それをくい止めるために努力する高橋一馬氏と「緑のサヘル」の取り組みを理解する。 2. Section 2 を読み、高橋氏の高校時代の様子と、なぜ農業をしかもアフリカで行なおうと決心したのかを理解する。 3. Section 3 を読み、高校を卒業した高橋氏が苦労を重ねながら自分の夢をかなえようと努力する様子や、「緑のサヘル」の設立に至るまでの経緯を理解する。 4. Section 4 を読み、「緑のサヘル」の現状や、アフリカの地元の人々の様子、そして高橋氏の自らの取り組みへの熱い思いを理解する。 5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。 6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。 7. [Keys to Reading]において、「連続性 (sequence)」という文章構成に着目して、文章の論旨の展開を理解する。
表現の能力	話すこと	1. 各セクションごとに、 Pre-reading の段階において、 Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。 2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、[Questions]の問いに積極的に答えることができる。 3. [Comprehension]において、高橋一馬氏の生き方について、最も強く感じたことを英語で発表できる。
	書くこと	1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。 2. [Comprehension]において、高橋一馬氏の生き方について、最も強く感じたことを英語で書いてまとめることができる。
言語や文化についての知識・理解		1. 砂漠化するアフリカの大地の深刻な現状を理解し、また、その砂漠化に少しでも歯止めをかけ、緑を増やす取り組みを続ける高橋一馬氏という日本人がいるということ、そして、人生には熱い思いや夢が大切なのだという彼のメッセージを理解することができる。 [R] 2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べるができる。 [R] 3. 「連続性 (sequence)」のシグナルとなる語句に注目しながら、文章の論旨の展開を理解し、正確に文を解釈することができる。 [R] 4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。 [R], [W], [S]

Lesson 6 Do Women Talk Too Much?

観点	評価規準				
関心・意欲・態度	1. 女性と男性のどちらがおしゃべりと思うかや、教科書 p.68 のそれぞれの写真において、誰が一番しゃべっていると思うかなどについての教師の問いに、積極的に答えようとする。 [L], [S] 2. 世間では「女性はおしゃべりである」とか「男性より女性の方がよくしゃべる」などによく言われるが、自分はそれについてどう思うかを述べることができる。 [S] 3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。 [R] 4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。 [L], [S]				
理解の能力	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="209 483 277 730">聞くこと</td> <td data-bbox="277 483 1455 730"> 1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。 2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。 3. 各セクションごとに、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。 4. [Comprehension]において、本文の内容をまとめた英語を聞いて、空所を補充することができる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 730 277 1305">読むこと</td> <td data-bbox="277 730 1455 1305"> 1. Section 1 を読み、「女性は男性よりもよくしゃべる」というのは実際には正しくないという作者の主張を理解する。 2. Section 2 を読み、場面や状況によって男性が優位にしゃべるのか、あるいは女性が優位にしゃべるのかが分かれる傾向があるということを理解する。 3. Section 3 を読み、馴染みのある話題や自分の専門に関する話題の場合は、性差による有意な差異は発生しないということ、また、フェミニストかどうかということもひとつの要素となることを理解する。 4. Section 4 を読み、「女性の方が男性よりもおしゃべりであるか」という問いに対する答えは、結局 Yes でもあり No でもある、要するに、それは場面や状況によるということを理解する。 5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。 6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。 7. [Keys to Reading]において、「比較・対照 (comparison/ contrast)」という文章構成に着目して、文章の論旨の展開を理解する。 </td> </tr> </table>	聞くこと	1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。 2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。 3. 各セクションごとに、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。 4. [Comprehension]において、本文の内容をまとめた英語を聞いて、空所を補充することができる。	読むこと	1. Section 1 を読み、「女性は男性よりもよくしゃべる」というのは実際には正しくないという作者の主張を理解する。 2. Section 2 を読み、場面や状況によって男性が優位にしゃべるのか、あるいは女性が優位にしゃべるのかが分かれる傾向があるということを理解する。 3. Section 3 を読み、馴染みのある話題や自分の専門に関する話題の場合は、性差による有意な差異は発生しないということ、また、フェミニストかどうかということもひとつの要素となることを理解する。 4. Section 4 を読み、「女性の方が男性よりもおしゃべりであるか」という問いに対する答えは、結局 Yes でもあり No でもある、要するに、それは場面や状況によるということを理解する。 5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。 6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。 7. [Keys to Reading]において、「比較・対照 (comparison/ contrast)」という文章構成に着目して、文章の論旨の展開を理解する。
聞くこと	1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。 2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。 3. 各セクションごとに、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。 4. [Comprehension]において、本文の内容をまとめた英語を聞いて、空所を補充することができる。				
読むこと	1. Section 1 を読み、「女性は男性よりもよくしゃべる」というのは実際には正しくないという作者の主張を理解する。 2. Section 2 を読み、場面や状況によって男性が優位にしゃべるのか、あるいは女性が優位にしゃべるのかが分かれる傾向があるということを理解する。 3. Section 3 を読み、馴染みのある話題や自分の専門に関する話題の場合は、性差による有意な差異は発生しないということ、また、フェミニストかどうかということもひとつの要素となることを理解する。 4. Section 4 を読み、「女性の方が男性よりもおしゃべりであるか」という問いに対する答えは、結局 Yes でもあり No でもある、要するに、それは場面や状況によるということを理解する。 5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。 6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。 7. [Keys to Reading]において、「比較・対照 (comparison/ contrast)」という文章構成に着目して、文章の論旨の展開を理解する。				
表現の能力	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="209 1305 277 1592">話すこと</td> <td data-bbox="277 1305 1455 1592"> 1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。 2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、Questions の問いに積極的に答えることができる。 3. [Comprehension]において、今までに「沈黙は金」と思われる経験をしたことがあればその経験を、何かを言わなかったことで失敗した経験があればその経験を、それぞれ英語で発表することができる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="209 1592 277 1800">書くこと</td> <td data-bbox="277 1592 1455 1800"> 1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。 2. [Comprehension]において、今までに「沈黙は金」と思われる経験をしたことがあればその経験を、何かを言わなかったことで失敗した経験があればその経験を、それぞれ英語で書いてまとめることができる。 </td> </tr> </table>	話すこと	1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。 2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、Questions の問いに積極的に答えることができる。 3. [Comprehension]において、今までに「沈黙は金」と思われる経験をしたことがあればその経験を、何かを言わなかったことで失敗した経験があればその経験を、それぞれ英語で発表することができる。	書くこと	1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。 2. [Comprehension]において、今までに「沈黙は金」と思われる経験をしたことがあればその経験を、何かを言わなかったことで失敗した経験があればその経験を、それぞれ英語で書いてまとめることができる。
話すこと	1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。 2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、Questions の問いに積極的に答えることができる。 3. [Comprehension]において、今までに「沈黙は金」と思われる経験をしたことがあればその経験を、何かを言わなかったことで失敗した経験があればその経験を、それぞれ英語で発表することができる。				
書くこと	1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。 2. [Comprehension]において、今までに「沈黙は金」と思われる経験をしたことがあればその経験を、何かを言わなかったことで失敗した経験があればその経験を、それぞれ英語で書いてまとめることができる。				
言語や文化についての知識・理解	1. 世間一般で言われているいわゆるステレオタイプな物の見方や判断に対して、社会学的な見地から分析し、考察するアプローチを理解することができる。 [R] 2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べるができる。 [R] 3. 「比較・対照 (comparison/ contrast)」のシグナルとなる語句に注目しながら、文章の論旨の展開を理解し、正確に文を解釈することができる。 [R] 4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。 [R], [W], [S]				

Lesson 7 To End War or Humankind

観点		評価規準
関心・意欲・態度		1. 教科書 p.82 を見ながら、この時計は何を表わしているのか、左側の年号にあるその年の出来事とその時計とはどのような関係にあるのかなどについての教師の問いに、積極的に答えようとする。 [L], [S] 2. 原爆の開発と、広島と長崎への投下について、自分の思うところを述べようとする。 [S] 3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。 [R] 4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。 [L], [S]
理解の能力	聞くこと	1. 各セクションごとに、 Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。 2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。 3. 各セクションごとに、 True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。 4. [Comprehension]において、英語を聞き、関連するキーワードを正しく選ぶことができる。
	読むこと	1. Section 1 を読み、作者がどのような経緯で原爆の開発に携わるようになったかを理解する。 2. Section 2 を読み、核抑止力という背景と、広島と長崎への原爆投下後に作者がとった行動について理解する。 3. Section 3 を読み、ラッセル＝アインシュタイン声明が出されるに至るまでの経緯を理解する。 4. Section 4 を読み、「パグウォッシュ運動」の発端と発展についてその背景も含めて理解し、また、作者のすべての戦争の終焉へ向けての確固とした決意を理解する。 5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。 6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。 7. [Keys to Reading]において、代名詞に注意しながら与えられた英文を正しく日本語に訳すことができる。
表現の能力	話すこと	1. 各セクションごとに、 Pre-reading の段階において、 Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。 2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、 Questions の問いに積極的に答えることができる。 3. [Comprehension]において、本文の最終パラグラフ（引用を含む）を読み、どうすれば戦争を回避できるかについてグループで話し合うことができる。
	書くこと	1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。 2. [Comprehension]において、本文の最終パラグラフ（引用を含む）を読み、どうすれば戦争を回避できるかについて英語で書いてまとめることができる。
言語や文化についての知識・理解		1. アメリカが原爆開発に踏み切った当時の歴史的背景を理解し、その後の世界情勢のなかで核軍縮や戦争放棄に向けて世界の科学者たちがどのような取り組みをしてきたかを理解できる。 [R] 2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べるができる。 [R] 3. it, that, this など文中の代名詞が何を指すかを正しく把握しながら、正確に文を解釈することができる。 [R] 4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。 [R], [W], [S]

Lesson 8 Perceptions and Illusions

観点		評価規準
関心・意欲・態度		1. 教科書 p.104 の図版の不思議さについてできるだけ多く英語で述べるができる。教師からの問いにも適切に答えられる。 [L], [S] 2. 教科書 p.105 の Figure 1 や教科書 p.109 の Figure 3, 4 を見て、それぞれ何を意図したイラストであるかを述べようとする。 [S] 3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。 [R] 4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。 [L], [S]
理解の能力	聞くこと	1. 各セクションごとに、 Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。 2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。 3. 各セクションごとに、 True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。 4. [Comprehension]において、 True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。
	読むこと	1. Section 1 を読み、「錯覚」とは何かということ、「錯覚」と我々の日常生活との関わりについて理解する。 2. Section 2 を読み、物理的には存在しない音を聞き取るという「錯覚」(=知覚の「補完現象」と、その効用について理解する。 3. Section 3 を読み、視覚の世界においても、知覚の補完現象が存在するというを理解する。 4. Section 4 を読み、知覚に関わる脳の働きについて理解する。 5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。 6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。 7. [Keys to Reading]において、「因果関係 (cause-effect)」という文章構成に着目して、文章の論旨の展開を理解する。
表現の能力	話すこと	1. 各セクションごとに、 Pre-reading の段階において、 Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。 2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、 Questions の問いに積極的に答えることができる。 3. [Comprehension]において、視覚に関する具体的な「錯覚」の例を取り上げ、どのような「錯覚」であるか英語で説明できる。
	書くこと	1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。 2. [Comprehension]において、視覚に関する具体的な「錯覚」の例を取り上げ、どのような「錯覚」であるかについて英語で書いてまとめることができる。
言語や文化についての知識・理解		1. 視覚や聴覚に関する「錯覚」について理解を深め、脳との関わりのなかでその「錯覚」の分析や研究を進めることで、私たち人間の情報処理に関する基礎的なメカニズムの解明と、情報伝達に関わる要素の限定へとつながる可能性のあることを理解できる。 [R] 2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べるができる。 [R] 3. 何が原因 (cause) で何が結果 (effect) なのかを、シグナルとなる語句にも注意しながら正しく把握し、正確に文を解釈することができる。 [R] 4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。 [R], [W], [S]

Lesson 9 Morals, Apes, and Us

観点		評価規準
関心・意欲・態度		<p>1. 人間と動物はどのような点において同じであり、どのような点において異なるのかという教師の問いに対して、積極的に答えることができる。 [L], [S]</p> <p>2. 教科書 p.117 の写真を見て、何が起きているのかを想像を交えながら説明することができる。 [S]</p> <p>3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。 [R]</p> <p>4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。 [L], [S]</p>
理解の能力	聞くこと	<p>1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。</p> <p>2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。</p> <p>3. 各セクションごとに、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。</p> <p>4. [Comprehension]において、True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。</p>
	読むこと	<p>1. Section 1 を読み、ゴリラのビンティがとった行動と、それによってどのような興味がかきたてられるのかを理解する。</p> <p>2. Section 2 を読み、科学者エドワード・スタンバックと心理学者マーク・ハウザーが行なったそれぞれの実験について理解する。</p> <p>3. Section 3 を読み、ジュールズ・マッサマンと彼の同僚によって行なわれた実験について理解する。</p> <p>4. Section 4 を読み、実験の結果から何がわかるのか、そして、道徳的であるということはどういうことなのかを理解する。</p> <p>5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。</p> <p>6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。</p> <p>7. [Keys to Reading]において、コロン (:) とセミコロン (;), ダッシュ (—) の用法に注意しながら、文章を論旨の展開に沿って正しく理解する。</p>
表現の能力	話すこと	<p>1. 各セクションごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。</p> <p>2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、[Questions]の問いに積極的に答えることができる。</p> <p>3. [Comprehension]において、本文に紹介されている3つの実験について、それぞれ教科書 p.124 で挙げられている6つの観点に基づいて、日本語あるいは英語で発表することができる。</p>
	書くこと	<p>1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。</p> <p>2. [Comprehension]において、本文に紹介されている3つの実験について、それぞれ教科書 p.124 で挙げられている6つの観点に基づいて、日本語あるいは英語で書いてまとめることができる。</p>
言語や文化についての知識・理解		<p>1. 動物、特に類人猿は、人間と同じように感情を持ち、他者に共感を感じたり、協力したりすることができるのか、また、「道徳」というのは人間が独自に有するものであるのか、などについて考察することができる。 [R]</p> <p>2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べることができる。 [R]</p> <p>3. コロン (:) とセミコロン (;), ダッシュ (—) の意味するところを理解し、文章をスムーズに正しく解釈することができる。 [R]</p> <p>4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。 [R], [W], [S]</p>

Lesson 10 Reading Pictures

観点		評価規準
関心・意欲・態度		1. 普段絵画をどのように鑑賞しているかという教師の問いに対して、積極的に答えることができる。 [L], [S] 2. 教科書 p.128 の絵画を見て、この絵はどのような物語を伝えようとしているのかを説明することができる。 [S] 3. 未習語や理解困難な箇所があっても、推測したり辞書を活用して読み進めようとする。 [R] 4. ペアやグループ活動では、お互いに協力して、積極的に自分の意見を述べ、相手の意見にも耳を傾けようとする。 [L], [S]
理解の能力	聞くこと	1. 各セクションごとに、 Pre-reading の段階において教師の発する質問を理解できる。 2. 各セクションの文章を聞いて、推測しながら概要把握を行なうことができる。その際、[Questions]に答えられるかどうかをひとつの目安にしてもよい。 3. 各セクションごとに、 True or False の英文を聞き、正しく答えることができる。 4. [Comprehension]において、英語を聞き、関連するキーワードを正しく選ぶことができる。
	読むこと	1. Section 1 を読み、ボッティチェリの『春』の意味するところや、絵画の部分 Figure 2 (教科書 p.132)について、それが語りかけるものを理解する。 2. Section 2 を読み、絵画の部分 Figure 3 (教科書 p.133)について、それが語りかけるものを理解する。 3. Section 3 を読み、『パラスとケンタウロス』について、その絵が語りかけるものを理解する。 4. Section 4 を読み、 <i>Primavera, Pallas and the Centaur, Virgin and Child</i> の 3 枚の絵画が全体として語りかけるもの、特に主要なテーマとは何かについて理解する。 5. 文章の精読を促す各セクションの[Find]の問いに、文脈をたどりながら答えることができる。 6. 強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して、スムーズに音読することができる。 7. [Keys to Reading]において、分詞の用法に注意しながら、文章を論旨の展開に沿って正しく理解する。
表現の能力	話すこと	1. 各セクションごとに、 Pre-reading の段階において、 Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に的確な応答をすることができる。 2. 各セクションごとに、教師との対話を通して、[Questions]の問いに積極的に答えることができる。 3. [Comprehension]において、教科書 p.138 の絵について、その絵にかかっているものやその絵から受ける印象を英語で発表することができる。
	書くこと	1. 各セクションごとに、本文から読み取れる情報を表にしてまとめたり、要約文を書いたりして、全体の概要を把握することができる。 2. [Comprehension]において、教科書 p.138 の絵について、その絵にかかっているものやその絵から受ける印象を英語で書いてまとめることができる。
言語や文化についての知識・理解		1. Botticelli や彼の作品について理解を深めることができる。特に <i>Primavera</i> (『春』) を中心として他の関連するいくつかの神話的絵画も含め、それらに描かれている人物や背景にどのような意味が込められているのかを理解すると同時に、それらに込めた作者のメッセージについても理解することができる。 [R] 2. 脚注の語句の意味を理解し、例文の意味を日本語で述べることができる。 [R] 3. 分詞の文中での働き、とりわけ分詞の形容詞的用法と分詞構文に注意しながら、文意を正確に把握することができる。 [R] 4. [Vocabulary]において、ターゲットとなるポイントを把握しながら、扱われている語の意味を理解し、正しく用いることができる。 [R], [W], [S]